

第48回東北高等学校バドミントン選手権大会実施要項

主催 東北高等学校体育連盟 山形県教育委員会 東北バドミントン連盟

共催 天童市教育委員会

後援 公益財団法人山形県スポーツ協会 天童市体育協会

主管 東北高等学校体育連盟バドミントン専門部 山形県高等学校体育連盟
山形県バドミントン協会

1 期 日 令和元年6月21日(金)～23日(日)

2 会 場 山形県総合運動公園体育館
〒994-0000 山形県天童市山王1-1 TEL023(655)5900

3 種 目

(1) 団体戦(学校対抗)

男・女各県2チーム 開催県は4チーム

ただし、前年度東北高等学校選手権大会の上位2チームの県

男子：宮城県・福島県、女子：福島県・青森県については、参加枠を各々1増とする。

(2) 個人戦(個人対抗) 男・女 各県4複4単 開催県は8複8単

4 競技規則

平成31年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程および公認審判員規程による。

5 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人戦の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチは校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。

但し、各都道府県に規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

6 使用用器具

(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び平成31年度第1種検定合格水鳥球を使用する

7 競技方法

(1) 学校対抗(団体戦)

ア トーナメント戦方式による。但し3位決定戦は行わない。

イ ダブルス2組・シングルス3名で行い、試合順はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外はダブルスと兼ねて出場することができる。

ウ 1対抗戦は3マッチ先取とする。

エ 監督・コーチ・選手・マネージャーの変更は、大会事務局に所定の変更届出用紙で提出すること。ただし、追加は認めない。

オ 上記7(1)エについては、監督会議開始前(監督会議受付)までとする。

(2) 個人対抗(個人戦)

ア シングルス及びダブルスを行う。(シングルス・ダブルスは兼ねて出場できる)

イ トーナメント戦方式による。但し、3位決定戦は行わない。

ウ 選手の変更はいかなる場合も認めない。

8 編 成

学校対抗は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手5名以上7名以内とする。また、5名を欠いた場合はチームとして認めない。

9 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒で、各県高等学校体育連盟に加盟し、当該競技要項により当大会の出場資格を得たものに限る。

(2) 監督・コーチ・マネージャー・選手は(公財)日本バドミントン協会に平成31年度会員登録を完了したものとする。

(3) 選手は、平成12年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りでない。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満すと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア (財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認められない。

ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

- イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については応分の負担をすること。

10 参加制限

- (1) 学校対抗
- ① 各県男女 2 チームとする。
 - ② 開催県は男女 4 チームとする。
 - ③ 前年度東北高等学校選手権大会の上位 2 チームの県に参加枠を追加する。
- (2) 個人対抗
- ① 各県ダブルス 4 組、シングルス 4 名とする。
 - ② 開催県はダブルス 8 組、シングルス 8 名とする。

11 参加申込

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込方法

- ア 各校は各県委員長に参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込むこと。
- イ 各県委員長は各県分まとめて参加申込書を郵送で大会事務局に申し込むとともに、各県参加申込一覧表と組み合わせ表（氏名記入）をメール送信のこと。また、参加料は各県委員長が各県分まとめて、後日連絡する口座に振り込むこと。
- メールアドレス tyama@yamagatacity-ch.ed.jp

(2) 申込締切 令和元年 6 月 1 1 日（火）必着

※各県委員長は、参加校・選手が決定次第メールにて参加申し込みをお願いします。その後に参加申込書を送付してください。

(3) 郵送による申込先

〒990-2481

山形県山形市あかねヶ丘一丁目 9-1

山形県高体連バドミントン専門部委員長 大山孝光 宛

TEL023(643)4116 FAX023(643)4118

12 参加料

- (1) 学校対抗 1 チーム 2 3, 0 0 0 円
- (2) 個人対抗 1 人 2, 5 0 0 円
- (ダブルス、シングルの重複出場者は 1 名分のみとする)

13 宿 泊

- (1) 宿泊料金 1 人 1 泊 2 食付 監督・コーチ：8, 5 0 0 円（税込み）
選 手：8, 5 0 0 円（税込み）
弁当：8 0 0 円（税込み）
- (2) 申込方法 宿泊要項のとおり申し込むこと。
- (3) 宿泊申込先 宿泊要項参照

14 表 彰

男女とも団体・個人単・複ともに 3 位まで表彰する。

15 監督会議

令和元年 6 月 2 0 日（木）1 4 : 3 0 山形県総合運動公園大会議室にて行います。

16 組み合わせ

平成31年1月の全国高校選抜東北地区予選会における東北委員長会議で決定済みです。

17 連絡事項

(1) 練習は、6月20日(木)12:00より各県ごと割り当てます。詳細については、後日各県専門委員長に連絡します。

開会式は6月20日(木)16:00から山形県総合運動公園体育館メインアリーナにて行います。

(2) 水分補給はスクイズボトルやプッシュ・プルキャップなど蓋付き容器を使用すること。

(3) 服装

ア 競技時の服装は、色つきの着衣を使用する場合は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする

イ 上衣の背面中央部に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。目立たない場合は、ゼッケンをつけてもらう場合もある。

【上段：学校名(やや大きく)、下段、都道府県名】

ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm・横30cmの大きさとする。

(ゼッケンの場合の文字の色は、黒字または濃紺色とする。)

(例) 30cm

